会員のひろば

北海道医報では、特定の個人・団体を誹謗、中傷する内容等を除いた幅広い多様性のあるご意見を掲載させていただいております。

ゴンフレナ　ラブラブラブ

札幌市医師会
こころと発達クリニックえるむの木
須見よし乃

ここ２年、私の趣味はガーデニングです。クリニックには狭い庭があって、樹木のほかに草花を植えています。また道路沿いや２階のベランダにプランターを並べており、昼休みや仕事終わりのほか、休診日にも手入れをコツコツやっています。

ガーデニングといっても野菜より花が好きで、毎年株が大きくなる宿根草に加えて、季節に合った１年草を、日当たりや色合いを考えながら、あれこれ植えて育てるのが楽しいのです。失敗することもありますが、思った以上に大きくきれいに育つと達成感があります。

雪解けの時期、積雪の下から秋植えのパンジーが顔を見せた時、消えたと思った宿根草が土の中ら芽吹いた時には感動しました。肌寒い中、埃っぽい風に吹かれながら植えたパンジー、ビオラ、アリッサム、クリサンセマムなど春の花は、５月までは元気に咲いてくれました。でも今年は夏の到来が例年より１か月早く、春の花は軒並み耐えられませんでした。そこで６月には猛暑に耐えてくれそうな夏の花にせっせとチェンジしました。

大型ホームセンターの園芸コーナー、あるいは専門のガーデンショップに行くとまさに百花繚乱、見ているだけでも楽しくなりますが、お値段も結構な幅があります。例えば同じペチュニアでも、100円台で買える苗もあれば500円以上の苗もあります。これはコンビニで買う菓子パンと、道産小麦や天然酵母を使った有名店のパンとの違いみたいなもの？？など、どうでもよいことが頭の中に浮かびます。やはり、丈夫で美しい、そして少し珍しい苗を、コスパよく手に入れたいと思うものです。そうすると、いわゆる「ブランド苗」が視野に入ってきます。

「PW」という植物の国際ブランドがあって、ハイシーズンには様々な種類の花苗が出回ります。国際ブランドというだけあって、ネーミングセンスが独特です。「スーパーサルビアロックンロール」など、テンションも値段も高い苗もあります。（ちなみに買って育てたことはありません。）私は夏の花では千日紅が好きで、今年は「ゴンフレナ　ラブラブラブ」というPWの千日紅を、姿と名前に一目ぼれして買いました。一般的な千日紅も十分かわいいのですが、ゴンフレナラブは別種で、ピンクの色味が明るく、形も少し違います。背が高く、旺盛に分枝して花をたくさんつけます。切り取って飾っても長持ちしますし、切った後からどんどん育っていきます。ドライフラワーにしても縮みや色あせが少なく、とても推せる花です。７月から絶えることなく診察室や休憩室に飾っており、お盆の時期には亡くなった祖母の写真の周りにも飾りました。千日紅といえば仏花のイメージがあるようですが、ゴンフレナラブは繊細でありながら、スイーツのようなポップな明るさがあります。

ゴンフレナは千日紅の学名で、千日紅の花言葉は、「不死」「不朽」「色あせぬ恋」「変わらぬ愛」らしいです。誰が「ラブラブラブ」と形容したのかわかりませんが、あふれる愛のように咲く様は、日々くたびれている私の心に元気を与えてくれています。「ラブラブラブ」というとドリカムの名曲を思い出しますが、そこまで切ない感じはありません。自己満足の世界ですが、ゴンフレナラブに限らず、花々の愛はきっと周りに伝わっているはず、そうだと嬉しい、と思ってガーデニングにいそしんでおります。

暑い暑いと言いつつも、一雨ごとに秋が深まり、日が短くなって、長い冬が到来します。少しでも気持ちが沈まないように、庭が終わったらドライフラワーにしたゴンフレナラブをふんだんに使って、クリスマスリースを作ろうかなと今のうちから考えています。

追記：この原稿を書いている間に、わがツンデレ猫の妨害を何度か受けました。キーボードの上に乗ったり、尻尾で顔をなでたりです。放っておくと、おしりをこちらに向けて、チラ見します。眠いのか、ふてくされているのか。たくさん遊んであげないと、と思った所存でした。

占いのはなし

札幌市医師会
表参道ペインクリニック
大森　英哉（おおもり　ひでや）

「英哉、あんたの生年月日と生まれた時間を教えてちょうだい」

今から40年以上前、エンジニアを目指して関東地方の工学部に入学したものの、授業はおもしろくなく友人もできず、自分探しに突入してしまい医学部受験という選択が頭に入り離れなくなった。実家の両親に大学辞めて医学部受験をしたい旨を言ったところ、何バカなこと言ってんだ、無理に決まっていると、けんもほろろに諭された。当時居候させてもらっていた母親の妹の叔母さんにも同じことを話したところ、「わかった、おばさんが川崎によくあたる占い師がいるから、聞いてあげる。もしその占い師さんが無理って言ったら今の大学卒業するんだよ」ってことになった。子供時代にTVで観た占い師といえば水晶玉に呪文をかけたら、他人が憑依した感じであやしい雰囲気満載だったが、その占い師は普通の家に住むおばさんで本人の氏名と生年月日と生まれた時間から予見してくれるらしい。次の日、家に帰ると叔母さんが神妙な顔をしてこう言った。「医学部には受かるらしい。ただし医者になっても内科や外科みたいなメジャーな診療科には行ったらダメ、マイナーな科だと成功するよ」受験のことだけでなく将来のことまで予言してくれる、なんと親切なと思ったがとにかく医学部に受かるって予言されたことで、模試のＡ判定以上の安心感というか暗示効果があったのか医大に合格できた。占い師のこともすっかり忘れた６年後、卒業時、何科に進むかを決める時期になった。数ある候補から麻酔科を選びその後飛び切りマイナーなペインクリニックで開業して現在に至っている。結果的に占い師の予言通りの人生を歩むことになった。

さて今なら何を占ってもらうだろうか？もうやり直しの効かない年齢に達してしまい、占いの結果に一喜一憂することもないだろう。そうなると自分はいつ死にますか？みたいな予言になるが、あと10年後死にますよと言われたら、もう少し長く生きれませんかとかジタバタすることになるだけだろう。結局自分の人生は幸せでしたか？死んだあとどうなってますか？くらいしかないのかもしれない。占いは自分に都合の良い後押しをしてくれるお守りみたいなものなのだろうから。でも、もし川崎の占い師が生きていたら「概ね幸せだったよ。ただしマイナーな生き方貫いたらね。死んだあとは残せるものは何もなかったけど、あんたの生き写しが出てきてうまいことやってるよ」って言ってほしいな。

患者さんからもうすぐ無くなると思われている病院

十勝医師会
とかち泌尿器科
井上　隆太（いのうえ　りゅうた）

私は帯広に住んで10年ほどになりました。大学の医局人事で帯広協会病院に赴任し、その後、現在の医療法人に就職しました。帯広は比較的住みやすくそのまま定住してしまいました。私が就職した医療法人は帯広泌尿器科、とかち泌尿器科（音更町）の２か所のクリニックを運営しています。もともと帯広泌尿器科で働いていたのですが、とかち泌尿器科の院長が退職したため、今年の６月にとかち泌尿器科に異動となりました。それに伴いまして帯広市医師会から十勝医師会へ変更になっております。

私が着任した当初は患者さんから「ここの病院はもうすぐ無くなるんでしょ？」とか「来月から新しい病院に行ったらいいのかい？」とよく言われました。前任の院長がすぐ近くで開業したため、移転したと勘違いしている患者さんが大勢いました（地元の新聞にも誤解されるような内容で記事が出ています）。最初は驚いたのですが、「大丈夫です。ここの病院は無くなりませんので安心してください」とお話しています。今後どうなるか先が見通せない状況ですが、通院してくれる患者さんのために頑張っていきたいと思います。

前回会員のひろばに投稿したのは５年前でした(2020年12月号　接待を伴う飲食店)。私はカラオケが苦手なのですが、カラオケを強要されるカラオケスナック（以後スナック）が最も苦手です。新型コロナウイルス感染症の影響でスナックに行く機会が減り、少し気持ちが救われたという内容でした。もしかしたら、スナックからカラオケがなくなる日が来るかもしれないという期待も書いていました。しかし、現実は違いました。行動制限がなくなり、結局スナックに誘われる日々に逆戻りです。以前との違いは、スナックに行ってもカラオケを強要されないという点です。事情を知らない店員は私にカラオケを勧めてくるのですが、一緒に行った人が断ってくれるようになりました。自分でもばかばかしい内容だと思ったのですが、私の投稿を読んでくれた方もいたようです。その点については思い切って投稿した甲斐がありました。もしかしたら単純に時代が変わったのかもしれません。それでもスナックには誘われ続けます。何で誘われるのか分かりませんが、座っているだけでいいので一緒に来てほしいと執拗に誘われます。数合わせかもしれません。カラオケを勧められないだけましになりましたが、体にハイボールを流し続けているだけなので、自分の体のためにも早く帰れる方法を編み出したいです。

楽劇「トリスタンとイゾルデ」

根室市外三郡医師会
町立別海病院
山内　修

この楽劇はR・ワーグナーが作曲したもので、３幕構成の約４時間にわたる長大な物語です。

帆船の中で老国王の妃となるイゾルデが、以前から愛していたトリスタンと一緒に死のうと盃に毒薬を入れるも、毒薬は侍女により媚薬にすり替えられていたのです。それにより激しく愛するようになった二人のことを、夫になった老国王に知られ、家臣の剣によりトリスタンは重症を負います。イゾルデが到着した時にトリスタンの死。イゾルデも**『愛の死』**を歌い、事切れるのです。初演は1865年。

以下、楽劇を歌劇の一種として書いていきます。

①映像での私のお気に入り版

これまで観てきた映像の中で２点紹介します。

ｉ）Ｇ・ジョーンズ（Ｓ）、Ｊ・コート指揮／NHKホール1993年

ii）Ｎ・ステンメ（Ｓ）、Ｊ・ビエロフラーヴェク指揮／グラインドボーン歌劇場2007年

ジョーンズには楽劇「ニーベルングの指環」でも素晴しい映像あり。ステンメは2000年以降、最高のワーグナー・ソプラノの１人と思っています。

②中野京子著　角川文庫

著書「大人のための『怖いクラシック』オペラ編」のはじめにで、この楽劇のことを書いています。「せめて一度くらいはオペラを観たいと『トリスタンとイゾルデ』を選んでしまい、数万円も払って死ぬほどの退屈と眠気と闘う……」

そうなのです。この楽劇はオペラ上級者向けで、初心者は避けた方がいいようです。

③歌劇「愛の妙薬」1832年初演

ドニゼッティが作曲した喜劇的なオペラです。冒頭で「トリスタンとイゾルデの物語」の話を聞いた主人公が、イカサマ薬売りからイゾルデが飲んだ媚薬（ただのワイン）を買って飲みます。すると、何故か急に村の娘たちに言い寄られます。

④映画「昼下りの情事」1957年

Ａ・ヘプバーン主演のＢ・ワイルダー監督作品です。プレイボーイの大金持ち中年男と、チェロ専攻の音楽院女学生との恋の駆け引き。探偵の父の資料を盗み見て、その情報を利用して大金持ちを翻弄していきます。映画の65分ころにオペラ会場の２階客席に居て、その時「トリスタンとイゾルデ」の**『前奏曲』**が奏でられていきます。

⑤映画「トリスタンとイゾルデ」2006年

この映画には媚薬は出てきません。製作総指揮にＲ・スコットの名前があり、彼の監督映画「グラディエーター」張りの戦闘場面が見ものです。

⑥映画「憂國」1966年

三島由紀夫の自主制作映画で、私はこのDVDを10年前に旭川医科大学の下にあるブックオフで購入しました。観てビックリです。**能舞台**様セットに登場人物２人だけ、全編が白黒画面で台詞なし、ヌードになり愛の交歓、その後に軍服を着ての割腹自殺、それを追い妻の自刃。これを４月15日と16日の２日間で撮ったのも驚きです。

1965年ツール国際短編映画祭でグランプリの次点となり、翌年に全国各地で上映されました（成人映画指定）。1970年11月25日に三島氏が自衛隊市ヶ谷駐屯地で割腹自殺後、遺族の希望で上映が禁止され、上映フィルムは回収されて全て焼却処分。ネガ原版だけは三島夫人に焼却しないように依頼するも、30年以上にわたり存在未確認状態に。その原版を夫人の死後、三島邸の茶箱からほぼ完璧な状態で発見。「憂國」はDVDとして、上映から40年の時を経て蘇ることになったようです（2006）。

映画全編28分のバックに流れている音楽が、この「トリスタンとイゾルデ」の**『前奏曲』**と**『愛の死』**です。これは映像に見事に嵌っていて、２人の台詞または慟哭のようにも聞こえてきます。

⑦演奏会形式のBD：Ｌ・バーンスタイン指揮

1981年にバーンスタインが、バイエルン放送交響楽団と３つの幕を３回に分けて演奏（１月・４月・11月）。これをレコード用とテレビ放送用に収録。映像はバイエルン放送でのみ放映されたのですが、それをバーンスタイン生誕100周年記念としてBD化したものです（2018）。何と、歌手たちの歌うステージ床が**能舞台**のような形なのです!!

バーンスタインは1970年８月に来日した際、帝国ホテルで三島氏に「憂國」の鑑賞依頼をしたようです。後日、三島氏は東宝試写室に「憂國」をセッティング。それを観た衝撃的な記憶が、まさにこのステージ床の演出に繋がったと思っています。

札幌ファースト

北海道大学医師会
丸玉木材株式会社津別病院
日下（くさか）　貴文（たかふみ）

私は札幌生まれ、札幌育ちである。若い頃は何の郷土愛も持っていなかったが、年を重ねる毎に札幌への思いが深くなっている。もしも私が札幌市長になったならば、成し遂げたい３つのことがある。

⑴　札幌丘珠空港を新千歳空港に取って代わる存在にしたい。

私は主要空港の中で、新千歳空港が一番嫌いである。それは、搭乗客のことをないがしろにしているからである。一例に過ぎないが、いつも女性トイレの外まで長蛇の列となっているのを見て、何とかしようとは思わないのだろうか。そうであるならば、札幌丘珠空港を容赦のない用地買収を行い、大型ジェット機が離発着できる滑走路が２本ある空港に改造したい。大阪国際空港（伊丹）が関西国際空港よりも人気があるのと同様である。また、JR快速エアポートは非常に不満である。札幌丘珠空港に地下鉄を直結させ、福岡空港のような利便性を獲得したい。

⑵　市電を廃止し、地下鉄環状線を新設したい。

私は日本各地の路面電車に乗ることも多いが、大概は電車に並走する道路はかなり広く造られている。現状の札幌市電は道路が狭すぎて、車にとっても電車にとってもお互いに邪魔な存在となっている。また、信号と信号の間隔が短すぎて止まってばかりである。冬の路上で、なかなか来ない電車を待つのは辛すぎる。雪国に路面電車は適していない。

⑶　札幌に新球場を造設し、別球団を誘致したい。

札幌から日本ハムファイターズが去ってしまったのは、大きな痛手である。ペイペイドームに楽しそうに向かう福岡市民を見るにつけ、羨ましくて仕方ない。日本ハムファイターズはもう戻ってこないと思うので、別球団を誘致したい。場合によっては地下鉄を新設、延線することも考慮し、地下鉄が球場に近接・直結した利便性の高い新球場を目指したい。札幌に必要なのは、１軍である。

財源を無視した話をしてきましたが、皆さん、ご安心ください。私が札幌市長になることは、絶対にありません。なぜならば、私は「国民は無知である」と言う考えをもっているからです。遊説に行ったら、とんでもない失言をしてしまうのは必至です。これでは当選は無理です。でも、いつかは国民のためになる政治家が現れると期待するのは、幻想に過ぎないのではないでしょうか。

初めての木曽駒ヶ岳登山

札幌市医師会
メディカルプラザ札幌健診クリニック
高岡（たかおか）　和夫（かずお）

念願の木曽駒ヶ岳に登りました。千畳敷カールはまるで巨大なすり鉢のようで、本当に見事でした。透き通るような青空に真っ白な入道雲が広がり、カールを囲む険しい稜線がくっきりと浮かび上がっていました。夏山シーズン真っ盛りということもあり、登山道は多くのハイカーで賑わっていました。しかし、鮮やかな黄色のオトギリソウや麒麟草、岩の間で紫の花を咲かせる岩桔梗などの可憐な高山植物の姿を見ると、その喧騒もあまり気になりませんでした。名物のコバイケイソウやチングルマは残念なことに季節外れでした。

登山道のある千畳敷カールの真ん中を登り、稜線に出ると視界は一気に開け、御嶽山や北アルプスの山々が遠くに見え、その雄大な景色は大雪山系の雄々しい雄大さとは異なり、優雅な趣がありました。振り返ると、千畳敷カールが眼下に広がり、そのスケールの大きさに改めて圧倒されました。頂へ向かう最後の登りは、岩がゴロゴロとした急登のガレ場でした。息を切らしながらも、時折立ち止まっては、足元に咲く花々を愛でつつの登りでした。

そしてついに、標高2,956mの山頂に立ちました。360度の大パノラマが広がり、天空の仙人にでもなったようでした。吹き抜けていく強い風も心地よく、パラグライダーができれば最高だなと思いました。山頂標識の周りには、達成感に満ちたハイカーたちの笑顔があふれ、私たちも記念写真を撮りました。山頂には1532年の建立という木曽駒ヶ嶽神社の社殿があり、孫たちの健康を祈願しました。

台風８号９号が近づき登山中止かと心配していたにもかかわらず、当日は天候に恵まれ、熱くも寒くもなく霧も出ず、登りも下りも、美しい高山植物と壮大な景色を目の当たりにして、心ゆくまで山の魅力を堪能することができました。木曽駒ヶ岳は、登山初心者でも比較的登りやすく、それでいてこれほどの素晴らしい景色と出合える、本当に特別な良い山です。

追記、道医の投稿依頼を受けた時に、ふとした遊び心でAIに代筆させてみようと思いつき、数文字のキーワードで紀行文を指示しました。瞬時に素晴らしい華麗な文章が表示されました。とても自分の文章とは思えず、気恥ずかしい限りでした。そこで、美し過ぎる文章は書き直し、さらに、事実と異なる部分は訂正しました。まだまだハイカラで、AIとの合作文ですがご堪忍ください。

壁や障子だけでなくトイレにも目と耳が…悪口の弁明

札幌市医師会
新札幌パウロ病院
高階（たかしな）　俊光（としみつ）

以前本誌の『壁や障子だけでなくトイレにも目と耳が…』（北海道医報第1189号：2017年10月）の投稿の中で「教授の悪口」のことを詳しく書かなかったことがとても気になっていました。

簡単にあらましを説明しますと、恩師を囲む会で大先輩から「先生はトイレで教授の悪口を言って医局を出されたんだよね」と身に覚えのないことを聞かされました。よく聞いてみると、トイレで隣同士になった同僚に教授の悪口を言ったところ、個室にいた教授が偶然耳にしてしまい、医局長を経て広く知れ渡って大問題となったとのことでしたが、当の本人である私はまったく気づかないまま時を過ごしていたというものでした。テレビドラマで内緒で社内恋愛をしているカップルのことは、職場の皆には周知の事実なのに、知らないのは本人たちだけという場面を見たことがありますが、まさにそれと全く同じです。クジラに飲み込まれた小魚（小生）が状況を何も知らないでクジラのお腹の中（医局）でのほほんと悠長に泳いでいる小魚そのものでした。

言われてみると、医局員の歓送迎会の席で恩師から「軽口を叩くな！」と注意されたり、ゴルフ好きの先輩から「今がピークだよ」と揶揄されたりといった出来事があり、冒頭での「大先輩のお言葉」で、この３点が30年近くの歳月を経てつながって線になり、その要因は“教授への悪口”だったと知ったのです。

その教授の悪口とは、膣式子宮全摘出術の際、教授は子宮動脈を曲がりコッヘルで把持して処理していました。しかしコッヘルではなくペアンの方が愛護的ではないかと同僚に言ったことです。これは医局の先輩たちも常々に指摘していたことです。小生がたまたまトイレでお話したことが先陣を切ってしまったという形になったのです。教授は私の軽口を水に流してくれませんでした。在局中はウンと頑張ってたくさんの論文を書き、もう少し医局にいたかったのですが、先輩の言ったとおりあの時がピークでした。

「口は災いの元」と言いますから、本当に沈黙は金で、本当に壁や障子だけでなくトイレにも耳、目があるのですね。

もう半世紀も前、今と違って封建的な時代で教授はとても権威がありました。先輩から聞いた話ですが、その前の教授は生やしていた髭を女性にしか触らせなかったのですが、それを会食の席で酔った医局員が触ってしまい、その後すぐに地方に飛ばされてしまったのです。それに比べたら小生のお咎（とが）めはほとんどないに等しかったです。現在の大学病院の医局では教授が絶対的な権限を持つことはなくなりました。昔は教授の一存でこのように地方に飛ばされたり、と様々なドラマがあったものです。その教授の退官後、数年して教授宅におじゃました際、私の大好きなお酒をご馳走してくれ、「去る者が多いのに、また寄って来てくれるのは嬉しい」と言われ、その含蓄のある言葉に感激したものです。

それにしても当時“神聖”な場所は産科・分娩室の詰所の近くにあるトイレで、通常は教授が利用することは99.99％あり得ないのです。しかし事故は起こるもので、どんなに運転が上手な方がどれほど気を付けて運転していても、交通事故に遭遇する確率はゼロではありません。小生にしたらこれと同様に事故に遭ったようなものでしょうか？

小生の教授宅訪問で「教授をお慕い申しておりました」ことを理解していただければ、個室での軽口や教授にとっての悪口は帳消しになったのではと勝手に想像しています。今は医局と余り関係なく、静かにヒッソリと余生を送っていますが、今回誌面をお借りして悪口の弁明？をして曇っていた気持ちが晴れてスッキリしました。今ごろ恩師は墓の下で“帳消しにするぞ、高階、わっはっはは！”と一笑に付していてくれたらこんな嬉しいことはありません。私ももうすぐ墓の下です。